

全日赤



# 給食問題対策委員会ニュース

No2008-03

2009.03.15

このニュースは全日赤のホームページでも見られます <http://www.zennisseki.or.jp/>

## 唐津で「出向」という偽装請負の策動

唐津赤十字病院の経営者は、給食部門の下請けを派遣から請負に変更する方針を打ち出し、指揮命令系統を一本化する名目で、現在直接雇用している職員に対して、下請け会社へ「在籍出向」するように伝えてきました。単組は1月18日の団交で、「出向」は就業規則にも明記されておらず出来ないことを追及した結果、病院は「今後、個人との契約を結ぶ」と回答しました。1月27日の団体交渉には全国からの抗議FAXが集中するなか、組合員は「出向には応じない」意思表示を行うと共に「在籍出向」提案の撤回と職員の雇用確保および派遣を直接雇用とするよう追及しました。結果、病院は「検討し直す」と回答しましたが、3月11日の団交では、組合員以外の出向および直接雇用者の業務分担を検討していることを明らかにし、あくまでも請負にする方針に固執しています。単組では、組合員の雇用と患者給食を守る観点で「直接雇用による病院給食」を引き続き追及していきます。

### おばんざい 委託撤回後の近況報告。

庄原赤十字病院

この度、給食問題対策委員に任命されました。よろしくお願ひします。

サブプライム問題に始まった金融危機で、派遣切りやリストラが横行し、多くの労働者が仕事も住む家も失いました。景気や経済の不安も続いています。

そんなご時世に、当院は4月から調理師の部分委託を中止し、嘱託職員として直接雇用することが決定しました！！委託開始後10年、何度も委託中止を訴えてきましたが、「今後は調理師が退職するたびに委託人数を増やし、将来は完全委託する」という病院の方針だったので、180度違うこの決定は、本当に大きな成果です。

委託中止になった理由の一つに、昨年起こった食品偽装による、食の安心・安全への関心の高まりが挙げられます。当院は今まで食材の発注や献立作成は病院が行い、できるだけ地元の食材を使用した地産地消を目指してきました。もしも完全委託されていたら、事故米を病院食として出した可能性があり、患者様の食の安全が脅かされたことでしょう。

来年度は委託撤回されたものの、問題も残っています。嘱託職員なので来年度以後の雇用が保証されていませんし、委託会社からの転職による収入減や、正職員との格差もあります。また、再委託の可能性が無くなった訳ではありませんし、その時は食材や献立も全て委託されるでしょう。

今回の委託中止は、栄養課にとって最後のチャンスです。全体で力を合わせ、患者様に安心・安全なおいしい食事を責任をもって提供し、委託の完全撤回を勝ち取りたいと思います。今後の経過もまた報告したいと思います。

